

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」備前三門校		
○保護者評価実施期間	2025年10月20日 ～ 2025年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	29
○従業者評価実施期間	2025年10月20日 ～ 2025年11月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	近隣の企業とのコラボイベントにより、地域資源としての役割を意識して運営できていること。	日々の療育とは違う雰囲気でのイベントを実施することで、きらりはより楽しいところと思ってもらえるような時間を意図的に作るようにしている。	今までコラボしていなかった企業とも交流をしていき、子どもたちの豊富な経験の一助になれるようにする。
2	居宅訪問や関係機関連携を充実させており、保護者とのつながりを密に取ることができること。	保護者からの要望があれば、幼稚園や保育園、小学校への訪問を定期的に連携させていただいている。多面的に子どもたちの実態をとらえられるように意識している。	保護者の中には、こういった制度がある事をまだ知らない方もおられるので、周知活動を充実していく。
3	傾聴を意識した子どもたちとの関わりをしているため、子どもたちの居場所づくり貢献できているということ	職員一人一人が子どもたちを受容的にとらえられるように、普段から子供たちができるようになったことや成長していることを話題にしている。	自分たちだけの視点ではなく、他校舎や専門家からの助言をいただき、より広い視野で子どもたちをとらえられるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	校舎がせまいこと	パーテーションなどを少なくして、圧迫感を軽減する必要がある。もう少し広いところへの移転も視野に入れる必要がある。	狭い環境の中で、できることを工夫して取り組んでいる。ダイナミックな活動がしたい時は、近隣の公園まで足を運んでいる。
2	いわゆるリハビリ職（PT・OT・ST）がないことで、動作や訓練的な視点が弱くなること	事業所単体ではどうしようもないので、きらりのグループとして相互に連携して課題解決に向かっている。	他校舎のリハビリ職に意見を求めることで解決している。また、経歴が長い職員もいるので、豊富な知識で補っている。
3	事業所間の連携が少ない	事業所間での連携をしてきた文化が少ないので、まずはきっかけづくりをするところから始まる。	担当者会議などを定期的開催し、きらりが得ている保護者のニーズや学校などの連携先の情報を他事業所とも共有する機会を今後は増やしていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年1月15日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」備前三門校

利用児童数
(家庭数)

35

回収数： 29

	チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	7	1	1	勉強スペースは足りているが、運動スペースは狭い。少々狭いように見えます。	運動スペースに関して確保できない際には、公園などを活用します。部屋のスペースに関しては適宜場所を入れ替えながら行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報	26	3	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	2	1	0	遊んでいるボールが飛んでくることがあります。が、謝るなどのコミュニケーションの練習になっているのかも知れません。小さなお子さんの声になる時があります	FBの源。ボールが飛ぶこと、申し訳ありません。実際コミュニケーションの練習になっています。時間変更などで静かな時間を案内することもできるので、気になる際は教えていただけたらと思います。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思い	26	2	1	0	学校のイベントでの心配事を先取り したプログラムをしていただきました。	心配事がある場合に、事前に電話やFBで教えていただければ、実際に支援で行うことも可能です。遠慮なく教えてください。
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事 業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	26	2	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズ や課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサー ビス計画（個別支援計画）（※3）が作成されている	25	4	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービ スガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべ き支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定さ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われ ていると思いますか。	24	3	0	2		
	9 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されな いよう工夫されていると思いますか。	26	2	0	1		
	10 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他 のこどもと活動する機会がありますか。	24	3	1	1		
保 護 者 へ の 支 援	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他 のこどもと活動する機会がありますか。	6	8	12	3	お祭りや、特別なイベントに誘ってもらい参 加しています。 デイサービスでは個別で支援をしてくださっ ているため、交流は希望していない。	イベント、参加いただきありがとうございます。 個別支援をご要望の方で交流の希望がない場合は 教えていただければイベント案内等は控えさせて いただきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありまし たか。	25	2	1	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支 援内容の説明がなされましたか。	28	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム （ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等 も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われ	15	5	1	8		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こど もの健康や発達状況について共通理解ができて いると思いますか。	27	2	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が 行われていますか。	23	4	2	0	毎回15分時間をとってもら い、話す場があり心強いです	毎回15分に加え、必要の際は事業所内相談という 形も取らせていただくことができます。ご要望が ある場合には職員まで教えてください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思 いますか。	27	2	0	0		

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会	12	6	4	7		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れが適切に対応されているか。	23	4	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	5	0	10		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	6	1	7	防犯マニュアルは説明されていない	防災訓練の際に説明をさせていただく内容にもなるかと思います。ご希望の際は別日でもお話しすることは可能ですので、教えて下さい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	4	1	10		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われていると認識していますか。	22	3	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	3	1	9		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	5	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1	1	0	学習について、教えてもらいたい内容に対応してもらえる。テスト期間はテスト対策をして、余裕のあるときは、運動としてキャッチボール。	いつもご協力ありがとうございます。利用者様のご協力あってのことです。今後ともよろしく願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもサポート教室「きらり」 備前三門校		2026 年 1 月 15 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	少し狭く感じることもある協力し合い、使用しています。	片づけ等を協力して行い、できるだけ広く使えるように協力しています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	0	基本的には足りているが、少ない時もある。足りないと感じる時がある。累計上男子が多いので男性指導員がほしいと思う時がある。職員の業務負担を考えるともう少し増やしたい。職員の増員が必要だと思う。	今後も継続して配置については検討を行っていく予定です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	パーティションの中に歪んだものがあり、不安である。もう少し広くてもいいなと感じる。	パーティションの使い方、購入等は検討させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	運動遊びが十分にできるよう、共有スペースがもう少し広ければいいと思います。消毒換気は適宜行なえている。	運動遊びは公園なども使用しています。消毒、換気、掃除は適宜行っています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	静寂な中を希望の児童は扉が閉まる職員室内で支援している。	支援スペースは児の特性にあわせて使い分けています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	もう少しミーティングは回数が必要と思う。	業務負担も踏まえての回数ではありますが、必要な際には回数を増加させていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	適宜話をきかせていただいています。保護者のFBをほぼ毎回行っているので意見が反映できるようになっている。	評価表の掲示を行っています。また、ご意見のお電話内容は全職員で共有し、改善につなげています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	適宜話をきかせていただいています。	1 On 1 を実施し、必要であればその機会とは別に話をする機会を設けています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	QRでの回答が可能になってから回答率が上がったと思う。	QRでの回答は便利になった反面、相手が全くわからないという状況にもあります。常々結果を意識しながら業務の改善につなげていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	W担当の児童に関しては行えている。	W担当の児はもちろん、個別で担当している児に関しても支援内容については相談を行っています。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	保護者様の意見を取り入れて組んでいる。	保護者様の意見ももちろんですが、子どもたちそれぞれの成長を鑑みて行わせていただいています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	複数で担当する利用児の情報交換を適宜行っている。 しっかり連携が取れている。 <u>打合せの時間は毎回は取れない。</u>	業務上毎回は難しいですが、適宜連携を取り合いながら行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	打ち合わせと言うほどではないですが、話し合いをしています。 気付いた点は常に共有する様にしている。 <u>必要な時のみ行なっている。</u>	終了後すぐに行うことは難しいですが、次回支援日までに指導員同士話し合い、次のプログラムや支援内容を共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	記録が追いつかない時がある。	記録を打つ時間を確保できるよう会議等の簡略化などを実施しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	直接学校と情報共有は出来ていないが、保護者の方より年間計画や下校時間は教えて頂いている。 変更がある際には都度共有して頂いている。 <u>担当者会議など定期的に出席している。</u>	関係機関連携などでお世話になる機会も多いです。今後ともよろしくお願いいたします。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	申し出があればしたい。	制度として可能であると思いますので、できる限りさせていただきます。またきょうだいの場合は引き続き相談に乗らせていただいていることもあります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	クレープイベント、あそび博など地域との交流の機会が持っている。	今後も地域交流の機会は作っていきたく思います。地域の公民館・公園でお会いしますので、よろしくお願いいたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	全てではないですが、参加できる時には参加させていただいています。 <u>以前所属していた校舎では参加していたが、ここに異動してきてからは参加していない。</u>	できる限り参加できるように業務調整していきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回のフィードバックや必要であれば事業所内相談を行い、利用者の状況や課題についてお互いの認識を確認している。	フィードバック、事業所内相談等で様々なお話を聞かせていただき、大変ありがたく感じます。今後ともよろしくお願いいたします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	3	イベントの時には兄弟児も参加してもらった り相談を受ける機会が持てている。	事業所内相談等で様々なお話を聞かせていただき、大変ありがたく感じます。今後ともよろしく願ひいたします。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	定期的にHPをアップしている。 ブログやラインでアップしています。 ブログやLINEで発信している。	今後もLINE、ブログにて様子を伝えさせていただきます。よろしく願ひいたします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	放デイ向きのイベントはなかなか開催できていない。 クレープイベントやあそび博など地域に開かれた事業が行っている。	年に数回イベントを実施しています。今後もいろんな層をターゲットに実施していきたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	持病のある利用者さんに対しては毎回の体調の確認を行っている。持病の有無に関係なく感染症の時期には利用者さん全員を気にかけている。	契約時にお話を聞かせていただいた通りや、直近の受診の状況を聞かせていただき、対応させていただいています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	食事提供なし。	該当児に関してはエビペンを持参していただいております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		